



病院理念 人にやさしく 信頼される病院

基本
方針

私たちは 皆様の権利や意思を尊重し、納得のいく医療を提供します。
私たちは 地域に必要な医療を提供し、健やかで豊かな地域社会の実現を目指します。
私たちは 安全で良質な医療を提供するため、日々研鑽いたします。

日本医療機能評価機構認定病院
羽咋郡市広域圏事務組合

公立羽咋病院

〒925-8502
石川県羽咋市の場町松崎24番地
TEL (0767) 22-1220
FAX (0767) 22-5598
<https://www.hakuihp.jp/>

健診のすすめ

胃癌・大腸癌について



皆様お元気に過ごされていますでしょうか。令和4年の厚生労働省の報告では、日本人の平均寿命は男性が81.09歳、女性が87.14歳となっています。死因として男性はがんが最も多く（28%）、次いで心疾患、老衰、脳血管疾患、肺炎の順、女性はがんが最も多く（21%）、次いで老衰、心疾患、脳血管肝疾患、肺炎の順となっています。死因として最も多いのはがんで、日本人のおよそ4人に1人ががんで亡くなっています。

がんで亡くなる方は令和4年の全国統計で、男性は肺癌が最も多く、次いで大腸癌、胃癌、膵臓癌、肝臓癌の順、女性は大腸癌が最も多く、次いで肺癌、膵臓癌、乳癌、胃癌の順となっています。胃癌や大腸癌は健康診断を受けていれば予防できることが多いため、健康診断は毎年受けられることをお勧めします。

【胃 癌】

ピロリ菌が胃に慢性的に感染し、慢性胃炎（胃カメラで胃の粘膜が薄く萎縮して見えるため萎縮性胃炎と診断されます）をきたすことが、大半の胃癌の原因となります。ピロリ菌除菌治療が普及したことにより、近年胃癌の患者数は減少傾向となってきてはいます。除菌治療は、抗菌薬と胃薬を合わせた服薬内容を朝夕1週間飲むこととなります。それにより8～9割程度の患者さんが除菌成功するとされ、内服忘れが除菌不成功のリスクになります。除菌できなかった場合は抗菌薬の種類を変えて内服治療を行います。

ピロリ菌を除菌することにより、胃癌の発癌リスクが1/3程度に減少するといわれていますが、除菌後の萎縮性胃炎の痕から胃癌が出現するリスクがあり（除菌後胃癌）、ピロリ菌除菌後も定期的な経過観察が望ましいです。萎縮性胃炎と診断された方は、ピロリ菌除菌の有無に関わらず、1、2年に1回の胃カメラまたは胃バリウム検査を受けられることをお勧めします。

【大腸癌】

大腸がん検診として便潜血検査（2日法）が行われています。便を採取し、便に混じった血液を検出する検査です。便潜血検査は、ヒトのヘモグロビンに特異的な抗体を用いた検査法で行われており、ヒトの血液のみに反応するため、肉や魚の血液を食べても陽性にはなりません。

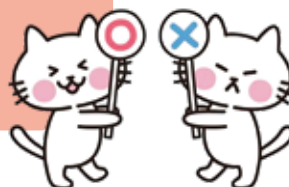
便潜血検査を行うと5～10%の方が陽性となります。便潜血検査が陽性となった場合、大腸内視鏡検査を受けて大腸癌が発見される割合は2～3%とされ、痔からの出血が原因であることが多いです。大腸内視鏡検査は当日朝から食止めとし、概ね2Lの下剤を内服することにより腸を洗浄したのちに午後から行うのが一般的です。胃カメラより大がかりな検査で、大腸の長さにより検査時間が長くなる場合もあります。

大腸癌の多くは腺腫性の大腸ポリープが発育して癌化すると言われています。大腸ポリープは1cmを超えると癌化している率が高まります。大腸内視鏡を行うと、大腸ポリープが4割程度に見つかります。当院では大腸内視鏡で大腸ポリープが見つかった場合はその場で切除し、概ね1泊の経過観察入院をしていただくこととしています。健診で便潜血陽性となった方は大腸内視鏡検査を受けていただくことをお勧めします。

内科医長 福本 剛

ピロリ菌の除菌に成功 これでもうひと安心??

家庭で
役立つ
情報

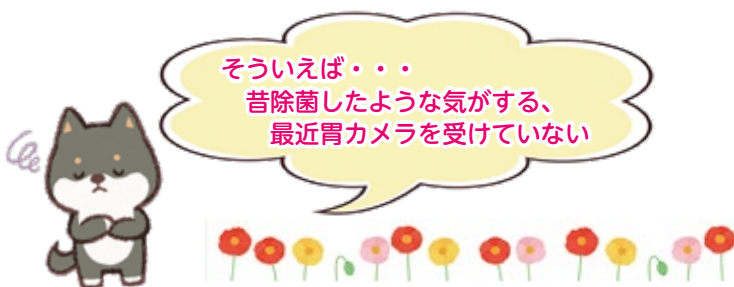


いいえ、それは誤解です。

胃がんの原因として明確なものは、「ヘリコバクター・ピロリ菌感染」です。

ピロリ菌の除菌に成功すると、胃がん発生のリスクは1/3程度にまで減少しますが、ゼロになるわけではありません。

除菌をした時点で、既に検査では発見できないような極小さな“がんの芽”ができてしまっていたり、除菌前の「胃の粘膜の萎縮(萎縮性胃炎)」が進んでいればいるほど、除菌後も胃がんのリスクは高く残ります。**1年に1回は、胃カメラ検査を受けましょう!!**



ぜひ内科外来へご相談ください。

外来看護師 上野 久美



SERIES タスクシフト

当院では医師や看護師の「働き方改革」実現のため、タスクシフト/タスクシェアに取り組んでいます!

この取り組みの一環として、臨床工学技士は、血液透析業務での透析専用の血管への穿刺や、超音波検査や手術室業務における医師への清潔介助業務を行っています。これらを実施するにあたり、厚生労働省から指定された基礎研修を20時間、実技研修を2日間受講しています(この他、心臓カテーテル検査や内視鏡検査での補助業務など、看護師とのタスクシェアを進め、お互いに業務の補完を行っています)。

臨床工学技士は、いのちを支えるエンジニアとして、患者の皆様へ安心・安全で良質な医療を提供できるよう日々精進していく所存です。

MEセンター 副技士長 木下 諒

穿刺…針を刺すこと



手術室業務の様子(写真左が臨床工学技士)

看護ふれあい体験



写真は遊学館高校の生徒さん

看護ふれあい体験として、7月16日に遊学館高校4名、7月25日に田鶴浜高校2名、8月2日に羽咋高校3名・鹿西高校1名の計10名が来てくれました。病棟内見学や、車椅子・ストレッチャー移送等の「患者体験」、検温の実施・手浴の見学等の「看護師体験」、患者さんとのコミュニケーションを通し、看護師の仕事体験をしてもらいました。

看護体験を終えた後の振り返りでは、「看護師さんたちの連携がカッコよくてチーム医療のすごさを改めて感じた。患者個々の健康状態や気持ちに配慮して寄り添うことが大切だと思った。」と言葉があり、短い時間でよく観察しているなぁと感心させられました。私たちスタッフも生徒さんから元気もらいました。今回の体験で感じた思いを胸に今後の活躍を期待しています。

地域包括ケア病棟 主任看護師 坪内 由紀美

リハビリテーション科 実習生受け入れ

6月17日から8月15日までのおよそ8週間、金沢リハビリテーションアカデミーの実習生の指導を行いました。久々の実習生の担当という不慣れな状況ではありましたが、実習生が頑張ってくれたので、無事、実習を乗り切ってもらうことが出来ました。十分な指導やアドバイスは出来ていないかもしれませんが、今回の実習を経て、作業療法・リハビリテーションに対する興味を深め、将来に活かしてもらえればと思います。今後、臨床の場や学会等で成長した実習生の姿をみられるのが楽しみです。

リハビリテーション科 主任作業療法士 岩島 寛



たくさんの願いごとが叶いますように



七夕の時期に設置していましたが、たくさんの願い事が付けられました。



羽咋中学校



手浴ケアを見学

職場 体験

羽咋中学校の2年生が職場体験に来られました。最初は緊張が伝わりましたが、次第に表情も和らぎ、患者さんの語られる生活史に耳を傾けていました。最後には、自然と握手をして感謝の気持ちを伝えていたのが印象的でした。患者さん一人ひとりのことを考え、寄り添う大切さを学べたということです。今回得た学びを、皆さんの将来に役立ててもらえたら幸いです。

地域包括ケア病棟 看護師 岡崎 利咲

羽咋高校

救急搬送から三次救急へのドクターヘリ搬送場面を実際の救急隊との合同で体験できたことは、リアルに職場体験できたのではと感じています。また、病棟では実際の患者さんに自分たちから質問してコミュニケーションがとれており、さすが職場体験に病院を選んだ方たちだと思いました。車椅子を押してもらった患者体験から、スピードが速いと怖く感じたことを活かして、翌日にはスピードを考えた車椅子搬送が出来ていました。短い実習期間の中で、素晴らしいかったです。医療の現場は、特殊ですがやりがいのある職場です。ぜひ未来の仲間になることを期待しております。

地域包括ケア病棟 看護師長 喜多 貴子



救急室で模擬患者対応



病棟で車いす移送体験



放射線科で機器操作見学



入院患者のリハビリ見学



入院患者の手浴ケアを見学

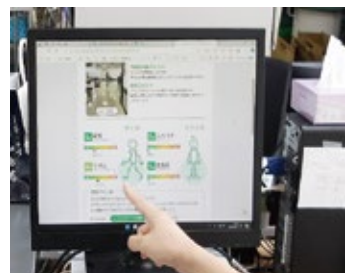
連携介護保険事業所 紹介

能登半島地震という未曾有の出来事は、地域の高齢者やそのご家族のために何ができるのか、福祉施設の存在意義をあらためて考える機会となりました。

そのようななか、3つのデイサービスでは「元気を取り戻し、笑顔で過ごす」時間が増えるよう、それぞれのデイサービスで、園芸、AIによる歩行解析でのADL向上、e-スポーツ等新しい特色づくりに取り組んでいます。

経験から蓄えた介護力を生かし、地域の介護相談はもとより、皆様から信頼される介護事業を展開していけるよう努めてまいります。

特別養護老人ホームはまなす園
生活相談員 加藤 恵美



特別養護老人ホーム はまなす園

住 所：羽咋郡志賀町赤住ハ4-1

電 話：0767-32-3888

事業所種別：施設サービス、居宅介護支援・通所介護・短期入所・訪問入浴

ありがとうございます

- ♥ なぎさ表紙題字・絵手紙 辻口 敦子 様
- ♥ 写 真 羽咋写真協会の皆様
- ♥ 絵 画 羽咋美術協会の皆様
- ♥ 書 字 羽咋市書道協会の皆様
- ♥ 俳 句 宝達志水町若草会の皆様
- ♥ 園児の絵

西北台保育所

テーマ

夏の風物詩



とき保育園

テーマ

葉っぱの
フロッタージュ

季節の 写真



夏の終わりは少し寂しい気もしますが「もういいよ」と言いたくなるくらいの暑さが続きました。欲を言えば、過ごしやすい日が少しでも長く続いてほしいものです。

季節の変わり目に体調を崩さないように気をつけてお過ごしください。

撮影・文

リハビリテーション科副士長 大西 公亮